鶴岡市社会福祉協議会

おだがいさま

odagaisama

第85号
令和元年
12月1日発行

鶴岡市老人クラブ連合会会長
小林達夫さんにお話を伺いました

◆老人クラブの活動を教えてください

私たちの活動は、活動の指針となる「山形県老人憲章」の精神に基づいて色々な事業を展開しています。主な内容として、社会奉仕活動、公式ワナゲ大会、福祉体育祭、高齢者作品展、健康に関する各種研修会や会員の融和を図る行事など行っています。組織の現況として連合会クラブ数113クラブ会員数3,991人の会員で組織されています。

◆これからのクラブ活動について

会員の増強に力を入れながら、「のばそう健康長寿、担おう地域づくり」を合言葉に「元気で、明るく、そして楽しく」その心を大切に事業を展開していきたいと思います。

◆会長は老人クラブ活動以外にいろいろなことにチャレンジしているとお聞きしていますが…

文筆活動（らくがき倶楽部）や福祉施設等での書道や詩吟指導、地区社協の会食サービスで思い出の歌を披露しています。

私の心の支えにしている言葉、アメリカの詩人サミュエル・ウルマンの詩の一節で、「年を重ねるだけで人は老いない　理想を失う時に初めて老いがくる」 暖かく和みの光で周囲を照らす、和蠟燭のような存在でありたいと思っています。

鶴岡市社会福祉協議会 福祉のつどい

10月10日、鶴岡市社会福祉協議会の福祉のつどいを開催し、約350人が参加しました。市社協の基本理念である「おだがいさまのまちづくり」を進めるため、市社協事業や地域福祉活動に理解を深めてもらう機会として毎年開催しています。

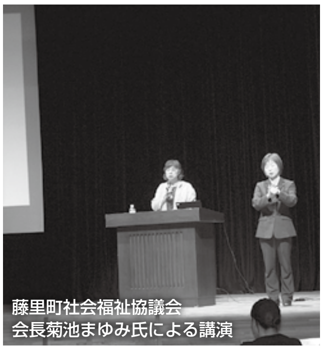
オープニングは、もみじが丘利用者の歌と踊りで、会場を温かい雰囲気で包みました。

また、福祉活動に尽力された7個人5団体に表彰状や感謝状が贈呈されました。地域福祉活動の紹介では第二学区、第六学区、三瀬地区、藤島地域、櫛引地域の住民の方たちの想いを形にした活動を紹介しました。講演は、秋田県藤里町社会福祉協議会会長菊池まゆみ氏を講師にお迎えし、「社会的孤立を防ぐ～支え・支えられるおだがいさまのまちづくりを目指して～」の演題で、引きこもり者等への支援についてお話しいただきました。

会場では障害福祉サービス事業所の展示販売や活動紹介も行われました。受賞者の皆様は下記のとおりです。

オープニング　もみじが丘利用者によるステージ発表

山木会長あいさつ


藤里町社会福祉協議会
会長菊池まゆみ氏による講演

◆表彰状

小林　達夫 氏（鶴岡地域）
大山老人クラブ連合会会長、鶴岡市老人クラブ連合会会長・鶴岡支部長、大山社会福祉協議会理事・評議員・会長を歴任し、地域福祉向上のため尽力された。

第三学区社会福祉協議会（鶴岡地域）
昭和五十七年第三学区社協設立。会・配食サービス、小中学生のリーダー育成、安心カード設置のほか「おだがいさま支え合い事業」を実施するなど地域福祉活動の充実に貢献している。

栄地区社会福祉協議会（鶴岡地域）
平成六年度栄地区社協設立。会食交流会、サロンのほか、救急搬送と災害時対応の機能を一体化した「我が家の安心カード」を設置するなど地域福祉活動の充実に貢献している。

加茂地区社会福祉協議会（鶴岡地域）
昭和二十六年加茂地区社協設立。会食交流会、サロンのほか、高齢者世帯の除雪活動、救急安心箱の配布や安心カード設置に取り組むなど地域福祉活動の充実に貢献している。

湯野浜地区食生活改善推進委員会（鶴岡地域）
湯野浜地区の食生活に関し、『健康食』をテーマに掲げた啓発活動を長年推進している。会食交流会では参加者増加にむけた取り組みを積極的に行い参加者増につなげるなど、福祉活動に大きく貢献している。

◆感謝状

三浦　久子 氏（鶴岡地域）
高齢者会食会初期の頃より活動し、二十六年間運営を支える。また、お茶のみサロンの立ち上げに協力、運営するなど長年にわたり地域福祉の推進に貢献された。

佐藤　節子 氏（鶴岡地域）
高齢者会食会の調理ボランティアとしてメニュー作成、食材の買い物、調理を十七年間中心的に活動された。保健推進員として健康増進を進めるなど地域福祉の推進に貢献された。

鷲田　祥子 氏（鶴岡地域）
高齢者会食のリーダーとして十五年間メニュー作成、食材の買い物、調理を行った。保健推進員として健康増進を進めるなど地域福祉の推進に貢献された。

船岡　さかゑ 氏（鶴岡地域）
高齢者会食会初期の頃より二十五年間ボランティアとして運営を支え、特に調理を担当するなど地域福祉の推進に貢献された。

佐藤　秀夫 氏（鶴岡地域）
隣組単位の見守りや福祉協力員の増員、民生児童委員と福祉協力員の見守り情報交換の場を開催した。福祉マップ作成事業により見守りの可視化を図るなど地域福祉の推進に貢献された。

五十嵐　光雄 氏（温海地域）
平成十九年より要介護者や障がいのある人の移動手段である福祉有償移送サービスの運転ボランティアとして活動し、長年にわたり地域福祉の推進に貢献された。

真如苑庄内支部（鶴岡地域）
長年にわたり一般社会福祉事業への寄付金を頂戴しており、地域福祉事業を推進する貴重な財源として活用させていただいている。

?福祉クイズ
東京オリンピック・パラリンピックが来年開催されます。パラリンピックが初めて開催されたのは何年でしょう?次のページの左側から選んでね。

想いをカタチに～おだがいさまのまちづくり～

鶴岡市内の地域住民が主体となり地域を想い、その想いをカタチにした活動をご紹介します。

親子リラックスタイム・ふれあい訪問

第二学区コミュニティ振興会

学区内の子どもたちと、子育て世代の親たちを地域で応援したいという想いから、気軽に集い情報交換や交流を楽しめる場として、就学前のお子さんとそのお母さん方を対象に平成29年から「親子リラックスタイム」を開催しています。

また、平成14年から「豆まき訪問」として、朝暘第二小学校の3・4年生が高齢の一人暮らし世帯へ訪問する活動を行ってきました。今年度からは開催時期を秋ごろに変更し、「ふれあい訪問」として活動を継続しています。地域での世代間交流を通して、未来を担う子どもたちを地域で育てる活動を積極的に行っています。

ゆったりカフェ

第六学区コミュニティネットワーク

長年認知症への取り組みのモデル地区として活動を実施してきたなかで、「もっと直接、認知症高齢者へ関わる取り組みをしたい」という想いから認知症カフェの「ゆったりカフェ」を開催しています。認知症の方やその家族、認知症に関心のある住民が集い、情報交換や交流をしたり認知症に関する相談を行っています。カフェの準備や運営は六学区の民生委員・児童委員や社会福祉部員が行います。そうすることで地域の方と顔見知りになったり、少し気になるという方の気づきにもつながります。今後も子どもから高齢者、障がいのある方など、誰もがお互いに支え合える活動に取り組んでいきたいと考えています。

三瀬地区おだがいさま見守りネット

三瀬地区福祉のまちづくり協議会

平成26年頃地区内で60代の方が孤独死の状態で発見されたり、認知症高齢者が行方不明になるなどの見過ごせない出来事の発生をきっかけに活動が始まりました。この活動は三瀬地区のお店や金融機関、住民自治組織などが日常のなかで見守りを行います。協力する団体や困ったときの初期連絡先を記載したパンフレットを全戸配布しています。さらに年に一度活動報告会を開催し、情報交換や事例の共有なども行っています。活動している方からは「異変を感じた時に相談する所がわかり、安心感が増した」との声もありました。今後も見守る側・見守られる側の両方が安心感を持って取り組める活動を行っていきます。

玄関先除雪サービス

藤島地域藤島地区自治振興会

平成26年に藤島地域藤島地区全住民の約10%にあたる465名にアンケート調査を実施。その中で「除雪に困っている」という回答が全体の約25%を占めていたため、このサービスを始めました。その名の通り自宅の玄関先を除雪するサービスで、利用は藤島地域活動センターへの登録と、１枚300円のチケットの購入が必要です。除雪の依頼は活動センターへ連絡し、担当サポーターを派遣してもらいます。利用者からは「無料だと気を遣ってしまい頼みづらいが、少しでもお金を払うことで頼みやすい」と大変好評です。今後もアンケートの結果をもとに活動を企画し、藤島地区に住むすべての人が安心して暮らせる地域を目指します。

通所サービスB「猫の手」 櫛引地域

通所サービスBとは鶴岡市が実施している介護予防・日常生活支援総合事業の一つで、住民主体の介護予防のための通いの場です。猫の手は今年4月から櫛引福祉センターにて活動を開始しました。運営を担う4名のスタッフは、櫛引がもっと元気になるために、誰でも参加できる居場所があればという想いに共感して参加しています。開催日の毎週火・金曜日には10名ほどの参加者が集い、体操や手工芸、季節の行事などを楽しんでいます。また、参加者の得意なことを活動に加えたり、経験を生かした活動も行っています。これからも、参加者の自主性を引き出し「一人ひとりが主役」として会を盛り上げてもらえるよう取り組んでいきます。

情報掲示板

働きながらの介護福祉士国家資格取得を応援します！

令和2年度

介護職員実務者研修 通信課程 受講生募集

- **期 間**：令和２年4月～12月 通信＋スクーリング
- **費 用**：71,300円～147,700円（テキスト代・消費税込み）
  ※保有資格により受講期間・費用が異なります
  ・ヘルパー２級又は初任者研修修了
  受講開始　令和2年6月～　費用132,400円
  ・保有資格なし
  受講開始　令和2年4月～　費用147,700円
- **内 容**：中央福祉学院の行う自宅学習による課題作成
  鶴岡市社会福祉協議会の行う面接授業
  （介護過程Ⅲ7日間・医療的ケア演習3日間）
- **申 込**：令和元年12月2日(月)～令和2年1月31日(金)
  鶴岡市社会福祉協議会 事業推進課
  TEL24-0053まで
- **定 員**：18名（定員になり次第締め切ります）
- **その他**：介護福祉士実務者研修受講資金貸付制度があります（問合せ：山形県社会福祉協議会）

詳細はお気軽にお問い合わせ下さい
本会ホームページから資料をご覧いただけます。

台風19号被災地への応援活動について

10月12日から10月13日にかけて発生した、台風19号の影響による被災地支援として、鶴岡市社協では「災害時の相互応援協定」を結んでいる、宮城県大崎市の災害ボランティアセンターへ対し、10月21日から11月10日までボランティアバス・ワゴン車を運行（大崎市9回、石巻市1回）しながら、ボランティアの皆さん（延べ参加人数90人）のご協力により被災家屋の片付け等支援活動を行ってきました。

また、市民の皆様、福祉施設より支援物資として日用品、土のう袋等の提供をいただき、多くの皆様に心より感謝申し上げます。

今後の支援活動については、鶴岡市社協のホームページ、並びに鶴岡市ボランティアセンターへのお問合せ（☎0235-23-2970）によりご確認をお願いします。

福祉クイズ

答え②1960年　第1回のパラリンピックが開催されたのは1960年のローマ大会からです。当時はまだパラリンピックという名前はなく、1988年のソウル大会で初めてパラリンピックという名前が使われました。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
（令和元年9月9日～令和元年11月8日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ
- 八沢会　様　30,000円
- 庄内なつメロ会　様　20,000円

◎藤島福祉センターへ
- 曹洞宗山形県第三宗務所　様　50,000円

★鶴岡福祉センターへ
- 匿名　100,000円

★東日本大震災の避難者支援事業へ
- 鶴岡市第六学区落語を楽しむ会　様　50,000円

★高齢者福祉センターおおやまへ
- 後藤　光子　様　女性物衣類等20着、冬用シューズ1足、多目的布切れ250枚
- 内田　美代子　様　車椅子　1台

★櫛引すこやかセンターへ
- 櫛引地域婦人会　様　タオル　112枚

★温海福祉センターへ
- 山口　勝男　様　30,000円

★くしびき保育園へ
- （有）阿部ベイコク　様　新米 つや姫 10kg

★くしびき東部保育園へ
- （有）阿部ベイコク　様　新米 つや姫 5kg

★くしびき西部保育園へ
- （有）阿部ベイコク　様　新米 つや姫 10kg

★くしびき南部保育園へ
- （有）阿部ベイコク　様　新米 つや姫 5kg

おだがいさま
第85号
令和元年12月1日発行
発行部数　48,800部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号（にこ❤ふる２階）
TEL 0235-24-0053　FAX 0235-23-9110
ホームページ http://www.shk01.jp/

鶴岡福祉センター　TEL 24-0053
藤島福祉センター　TEL 64-3100
羽黒福祉センター　TEL 62-4534
櫛引福祉センター　TEL 57-5300
朝日福祉センター　TEL 53-2795
温海福祉センター　TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。